

# にし西

## ■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

## ◎区民のページ 2005・12



まちの人



パティックの作品を制作している

ちびき  
千引 えみこさん(56)

パティックとはインドネシア語の「たくさん」と「点」という言葉を組み合わせた造語。インドネシアのジャワ島付近で作られる、多彩な伝統的模様をろうけつ染めした綿布(ジャワ更紗)のこと。布地に鉛筆で下書きした後、チャンティンという道具を使ってろうで線を引き、染めて水洗いし、乾かすという作業を繰り返して作る。

ギャラリー紹介の記事を読んで個展を見に行ったのが、パティックとの最初の出会いだ。話すのは宮の沢在住の千引えみこさんです。特に色の鮮やかさに強く引かれたそうです。その場に居た作家中田ゆう子さんと話をし、後日、中田さんのアトリエを訪ねてパティック制作を体験したところ、思いのほか夢中になってしまったと語ります。高校時代美術部に所属し油絵を描いていた千引さんは、道展で特選に入賞した経歴の持ち主です。卒業後は銀行に入行し、その後は結婚、子育てのため絵を描くことから



■千引さんの最近の作品「ランとバラ」

## 鮮やかな色合いに夢中です

遠ざかっていました。しかし、この間も個展を見に行くだけでなく、高校時代の仲間が開く個展を手伝いながら「いつかは自分も」と思い続けてきました。子育てを終え、時間もできたので植物画などを習っているうちにパティックに巡り合い、念願の個展を開くこともできました。制作には独特の粘りがあるインドネシア産のろうを使うているため、慣れないころはろうの特性が分からず、思わぬ所に落としてしまうこともあったといいます。そんなときは「心臓が止まるくらいびびくり」していたのですが、最近では思いがけない偶然を生かして制作するのを楽しみむまでになっていきます。最後に完成した作品を構想段階から選んでおいた額縁に入れるのが一番楽しみな瞬間。ご自身も絵を飾るのが好きで、個展に来た友人が千引さんの作品を飾るために買ってくれたのは本当に励みになったと語ります。「今思えば個展は早すぎたんです。まだ習っている身ですから」と千引さん。現在は伝統的な技法を習いながら集大成としての個展を夢見て制作に没頭する毎日です

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール [nishi@city.sapporo.jp](mailto:nishi@city.sapporo.jp) 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。

# あゝ 琴似駅



国鉄時代の駅名標

# 12

幌内鉄道開通から現在までの歴史を掲載



昭和51年6月、国鉄(当時)琴似駅



琴似駅横の踏切(昭和30年ころ)

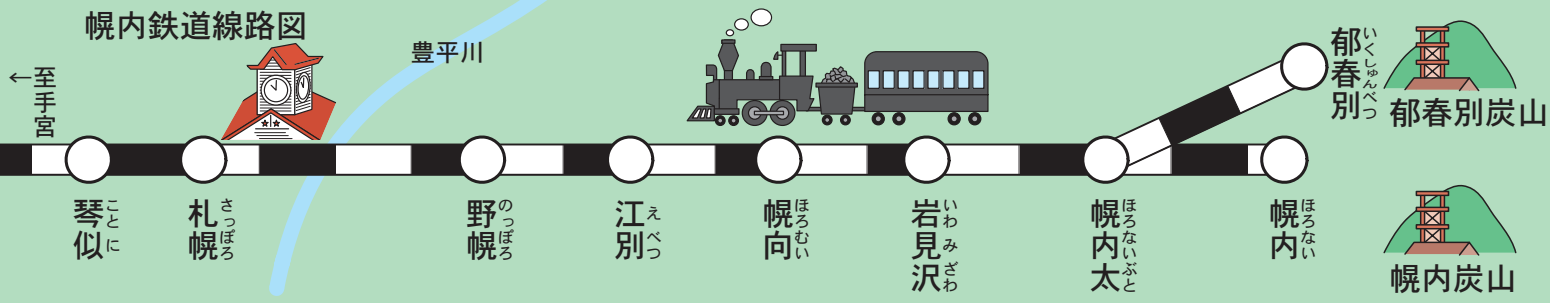


現在の琴似駅



現在の琴似駅ホーム

幌内鉄道線路図



「北海道鉄道百年史」上による。後に「郁春別」は「幾春別」に、「幌内太」は「三笠」に改称。

日本で三番目の鉄道

日本の鉄道の歴史は、明治五年（一八七二年）、新橋と横浜間の開業により始まりました。続いて、神戸と京都間が開業。そして、北海道で初めての鉄道である幌内鉄道が（手宮（小樽市）と札幌間に開通したのは、明治十三年のこと）で、わが国で三番目の鉄道でした。



幌内炭山

鉄道は石炭輸送の手段

幌内鉄道は、旅客を運ぶこともありましたが、主に石炭を運ぶための手段として敷設されました。イギリスで世界初の蒸気機関車による鉄道が、炭鉱から石炭を運び出す手段として実用化されたのと同様です。幌内炭鉱（三笠市）の石炭を小樽港から船で本州に搬出する目的で建設されたのです。

幌内と手宮間に鉄道が敷かれた理由

では、幌内の石炭を本州に運ぶために、なぜ幌内と手宮間に鉄道が敷かれたのでしょうか。

当初は、幌内から幌内太（旧三笠駅）まで鉄道を敷き、そこから石狩川を利用し、水路で石狩を経て小樽まで運ぶという案（第一案）や、幌内から天然の良港である室蘭まで鉄道を敷くという案（第二案）もありました。

しかし、第一案では、冬期間結氷により水路が閉ざされることや積み替えに手間がかかること、第二案は火山灰地帯が多く、線路敷設に適当な土地が少なく、経費も掛かり過ぎるといった難点がありました。

そこで、これらの問題を解決するために招かれたのが、アメリカの鉄道建設技師クロフォードです。彼は、幌内から手宮まで鉄道を敷く案を提言しました。これには札幌農学校のクラーク博士も賛成していました。



明治十三年十月、小樽市入船町付近を試運転する弁慶号

幌内鉄道の開通



神居古潭の断がい（現在の張碓駅付近）

しかし、クロフォードの案にも課題はありました。札幌と小樽間には、神居古潭の断がいがあり、人が通行できない細い道しかなかったことです。

そこで、明治十二年、開拓史はクロフォードを工事監督として道路建設工事に着手し、十二月には新道開通式を行いました。新道は丈夫で馬車が通行できることはもちろん、鉄道をも敷設しうるものでした。

次にクロフォードらは、明治十三年一月、小樽若竹町第三トンネルの開削を皮切りに工事に着手。工事は順調に進み、十一月二十日には札幌の空知通り仮停車場（北區北六条西三丁目）まで約三十六キロメートルの軌条敷設を完了しました。

こうして、明治十三年十一月二十八日、開拓史は待望の手宮・札幌間汽車運転式を挙行し、参加した人々は皆、クロフォードらの功をたたえて喜び合いました。その二年後、札幌と幌内間の開通により、名実ともに幌内鉄道となりました。

※空知通り仮停車場  
現在の北區北六条西三丁目。当時の札幌は、東西南北の通りに道内各地の名前が付けられていた。北六条の通り（現在は無い）は空知通りと呼ばれていた。



クロフォードの銅像（小樽交通記念館）

機関車はアメリカン・スタイル

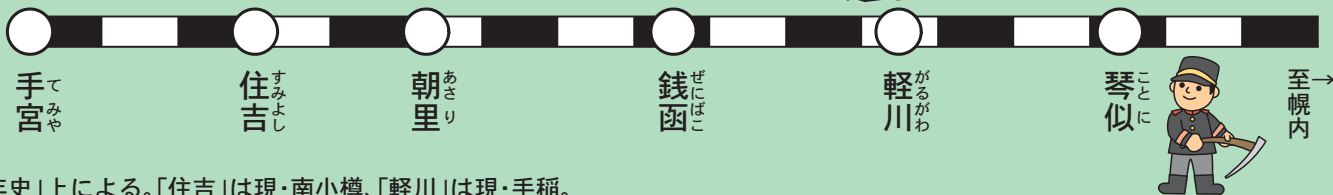
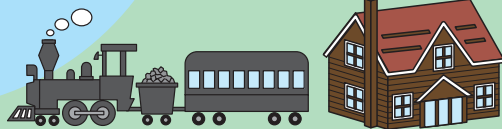
車両はすべてアメリカ製で、最初の機関車は一号「義経」と二号「弁慶」の二両でした。前面に牛との衝突に備えたカウキヤッチャー、火の粉が飛び散るのを防ぐためのダイヤモンド形の煙突カパー、ひもを引いて鳴らす鐘など、完全なアメリカン・スタイルでした。機関車は翌年以降も輸入され、「比羅夫」、「光圀」、「しづか」など歴史上の人物の愛称が付けられました。明治十八年の冬に張碓トンネル付近で「義経」と「弁慶」が立ち往生、手宮から「しづか」が救援に駆けつけて、連れ帰ったという話も残っています。



しづか号（小樽交通記念館）



# 幌内鉄道線路図



「北海道鉄道百年史」上による。「住吉」は現・南小樽、「軽川」は現・手稲。

駅の粗末なものでしたが明治二十二年に、待合事務所を含め二十二・五坪（七十四平方メートル）の駅舎や荷物積降場もできて、一応停車場としての形を整えました。

明治八年五月、琴似に北海道で初めての屯田兵が入地しました。その五年後に手宮と札幌間に鉄道が開通しましたが、銭函から札幌までは途中に駅がなく、沿線住民は不便でした。

その後、軽川（現・手稲）に簡易停車場が設置されたこともあり、琴似村と発寒村の屯田兵の代表から連名で琴似にも汽車を停めてくれるよう嘆願書が提出されました。この嘆願書によって屯田兵司令官が幌内鉄道と折衝し、明治十三年、フラグステーションが設置されることとなりました。フラグステーションとは、乗客があるときに、旗（フラグ）を掲げて汽車を停めることから、こう呼ばれました。

## 住民の要望により 琴似駅開業



琴似駅付近の街並み（大正13年ころ）

昭和初期の琴似駅



昭和十年ころには、停車場通りに商店街ができ、昭和十二年に、琴似町の人口が一人を越えました。また、このころから、製紙・製材などの工場が設置されて、これらの原材料、製品の輸送で貨物の発着も多くなりました。

## 試験場の設置と街の発展

幌内鉄道は当初、手宮と札幌間を約三時間かけて走り、一日一往復しました。明治時代は琴似の人口も少なく、汽車賃が相当高価だったこともあり、利用者はそれほど多くありませんでした。

大正時代に入ると琴似駅の北側に工業試験場と農事試験場が設置されました。これは、琴似の街の発展にとって大きな出来事でした。両試験場の設置によって、官営住宅が建てられるとともに、札幌に職場を持つ人々が、琴似や山の手に住宅を建てるようになったからです。

昭和48年の琴似駅ホームの後ろに森永製菓の煙突が見える。



## 「開かずの踏切」に閉口

昭和三十年、琴似町は札幌市と合併。このころから急速に住宅化が進み、琴似駅の旅客数は年々多くなりました。

琴似本通が拡張され、道路が舗装されると交通量も多くなりました。列車の本数も増え、琴似本通の踏切は、遮断される時間が長くなり、人も車も長い間待たされるようになり、特に関車側の人たちは、汽車を目の前にして乗ることができないなど、苦情や不便が募るようになりました。

函館本線を横断する歩道橋は、昭和四十年三月によくできて、歩行者の不便は多少解消されましたが、列車のたびに自動車の長い列ができるのは相変わらずでした。

## 鉄道高架化による街の変化

昭和四十七年四月、札幌市は政令指定都市に指定されるなど、目覚ましい発展を遂げ、東京以北最大の都市となりました。しかし、市の中心部を東西に貫通する函館本線により、市街地が分断され、交通渋滞が発生するなど、都市としての機能面から問題がありました。

そこで、当時の国鉄は札幌市など関係機関と協議し、市内中心部の高架化を決定。昭和六十三年、琴似駅は函館本線の高架駅として、新たに開業しました。

明治十三年の開業から今年で百二十五年。当初は旗を振って停めていた琴似駅も現在では一日約二百七十本の列車が停車します。乗車人員も一日九千七百三十人（平成十六年度）で、全道第五位となっています。駅前広場も作られ、付近には高層マンションが建ち並び、以前とはすっかり様変わりしましたが、西区の玄関としての役割は今も変わりません。

## 【参考文献】

日本国有鉄道北海道総局「北海道鉄道百年史」上、(株)北海道ジェイ・エール・エージェンシー「札幌駅116年の軌跡」、札幌市「琴似町史」、札幌市・札幌市教育委員会「さつぽろ文庫11・札幌の駅」

【写真提供】  
北海道大学図書館北方資料室、札幌市文化資料室



### かわいいお店やさんが登場

10月16日(日)、西区民センターで「第27回西区子どもまつり」が開催されました。

今年は、子ども会会員以外の子どもたちにも広く参加を呼び掛けたこともあり、例年以上の大盛況となりました。

子どもたちが販売などを担当する「縁日コーナー」や「売店コーナー」では、「安いよ」などと威勢良く呼び込みを行っていました。



### 本番さながら夜間消防訓練

10月14日(金)、西友西町店で夜間消防訓練が行われ、約80人が参加しました。

これは、同店が24時間営業していることから、夜間に火災が発生した場合の防火安全対策を確認するもので、避難や逃げ遅れた人の救出、放水訓練などを行いました。

避難を誘導するきびきびとした動きや掛け声などが、訓練会場を引き締めていました。



### 芸術の秋の晴れ舞台

10月中旬から下旬にかけて、西区民センターと西野・はっさむ両地区センターで、年に一度の文化祭が開催されました。

各会場では、繊細な手芸や力強い筆遣いの書道などの見応えある作品の展示や、フラダンスや日本舞踊などの華やかな舞台発表が行われ、各センターで活動するサークルが、日ごろの成果を披露しました。

▲西野地区センターの展示



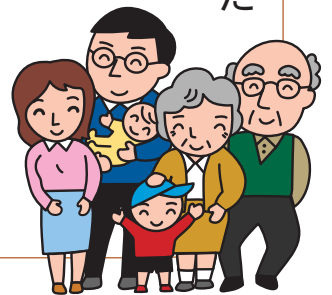
▲はっさむ地区センターの舞台発表



▲西区民センターの舞台発表



区内で行われた  
行事を写真で  
紹介します。



広 告 欄



12月11日からの内容です

国勢調査実施に伴い、速報値が公表されるまでは、人口と世帯数を掲載いたしません。

### 成人式のご案内



**日時** 1月9日(祝)午後1時～3時(式典は午後2時から)。  
**会場** 西区体育館(発寒5-8)。  
**対象** 昭和60(1985)年4月2日～昭和61(1986)年4月1日生まれの方。西区に住民登録のある方には、12月5日(月)に案内状を発送します。12月10日(土)までに届いていない場合は下記までご連絡

絡ください。

その他 ①住民登録を終えていない方、帰省中の方もご参加できます②自家用車での来場はご遠慮ください③式典では手話通訳があります。  
**【詳細】** 西区地域振興課地域活動係TEL(641)2400内線236～238

### 子育て支援担当から



**▽地域の親子のふれあい交流**  
**～ウインターカーニバル**  
**内容** 雪・そり遊びなど。  
**日時** 1月12日(木)午前10時～11時30分。  
**会場** 琴似中学校グラウンド・プレイルーム(山の手4-2)。  
**対象** 西区または近隣に在住の方(就学前のお子さんは保護者同伴で、小学生は保護者の同意を得てご参加ください)。

**費用・申込** 無料。不要。

※当日は暖かい服装でお越しください。天候により内容が変更になることがあります。

**▽子育て講座受講者募集**  
**内容** 子どもの健やかな心と身体を育てるために。

**日時** 1月27日(金)午後2時～3時30分。  
**会場** 西区民センター(琴似2-17)。

**対象** 0歳～就学前のお子さんを持つ保護者。※託児あり。  
**定員・費用** 20人。無料。  
**申込** 12月22日(木)午前9時から電話で。先着順。



### ▽乳幼児向け絵本リサイクル

家庭で眠っている絵本をお譲りください。リサイクルして乳幼児関連施設(保育園、幼稚園、子育てサロンなど)で活用し、乳幼児期から、絵本に親しむ環境づくりを進めます。  
**本の種類** 乳幼児向け絵本。  
**※月刊誌、汚れ・破れのあるものはご遠慮ください。**  
**受付場所** 西保健センター1

階子育て情報室(琴似2-17)

**期間** 12月12日(月)～26日(月)午前9時～午後5時(土・日曜、祝日は除く)。

**【申込先・詳細】** 西区保健福祉サービス課子育て支援担当TEL(641)2400内線484

### 夜間納税相談

**日時** 12月26日(月)～28日(水)。いずれも午後8時まで。  
**会場** 西区役所2階納税課⑥番窓口(琴似2-17)。庁舎裏側の職員通用口からお入りください。※来庁される際は、納税通知書、督促状、催告書のいずれかをお持ちください。  
**【詳細】** 西区納税課TEL(641)2400(代表)

### 山の手図書館から

**①クリスマスおたのしみ会**  
**日時・内容** 12月13日(火)午後3時～3時30分  
**②クリスマスお話し会**  
**日時・内容** 12月20日(火)午後2時30分～3時30分  
**③絵本の読み聞かせ会**  
**日時** 1月10日(火)午後3時～3時30分。

## 新環境フロンティア事業「西区エコライフセミナー」

**内容** ①子ども環境活動報告会②講演「マー兄ちゃんのやさしい新エネルギー講座」=講師：北野大さん(淑徳大学教授、工学博士)。

**日時** 12月21日(水)。①午後5時30分～6時45分②午後7時～8時30分。  
**会場** 札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ)ホール(宮の沢1-1)。

※地下鉄東西線宮の沢駅直結。

**費用・申込** 無料。不要。

**【詳細】** 西区地域振興課環境活動担当TEL641-2400内線256



北野 大さん

**プロフィール**  
 ○昭和17年足立区生まれ  
 ○淑徳大学国際コミュニケーション学部教授  
 ○タレント・ビートたけしさんの実兄

TEL (666) 55550

申込先・詳細 西野地区センター

※金・銀・銅賞の入賞者には電話でお知らせします。

表彰式 1月13日(金)午前10時30分(予定)。

会場 西野地区センター(西野4-1)。

期間 1月6日(金)～12日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

対象 西町・西野・山の手地区の小・中学生。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△作品募集▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

対 象 西町・西野・山の手地区の小・中学生。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

対 象 西町・西野・山の手地区の小・中学生。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。

△展示会▽

期 間 12月26日(月)～1月5日(木)午前9時～午後9時。 ※最終日は午後3時まで。



## 新春書き初め展示会

TEL (644) 68222

詳細 山の手図書館(山の手4-1)

◎年末年始の休館日 12月29日(木)～1月3日(火)。

のかいすいよく」ほか。

後3時30分～4時Ⅱ「ねずみ

日時・内容 12月15日(木)午後3時30分～4時Ⅱ「ねずみ

④子ども映画会

## 年末年始の業務案内

### ■窓口業務

印鑑証明、死亡届、市税の納入など年末年始の業務については、本誌34、35ページをご覧ください。

### ■相談コーナー

右表1の通り。

【詳細】①～④西区総務企画課広聴係TEL641-2400内線224～226、⑤西区地域職業相談室(ジョブガイド西)(琴似1-6札幌琴似第一ビル2階)TEL623-2787

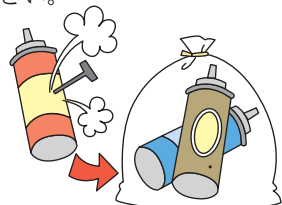
表1【相談コーナー】

相談内容	相談日	時 間	12月最終日	1月初日
①法 律	第2・4木曜日	午後(1人約20分) ※当日午前9時から電話予約受け付け。 先着8人。	22日(木)	12日(木)
②行 政	月曜日	午後1時～4時	26日(月)	16日(月)
③交 通 事 故	金曜日	午前9時30分～午後4時	16日(金)	6日(金)
④家 庭 生 活	火・水曜日	午前10時～午後4時	28日(水)	4日(水)
⑤職 業	月～金曜日	午前8時45分～午後5時	28日(水)	4日(水)

### ■ごみ収集

ごみの収集は12月31日(土)から1月3日(火)まで、大型ごみの申込受付・収集は12月29日(木)から1月3日(火)まで休みます。

なお、各地区の年末年始の収集日や大型ごみの収集については右表2・3をご覧ください。 ※一部の地域で、通常の収集時間帯より早くなる場合があります。ごみは必ず収集日当日の朝8時30分までに、ごみステーションへお出してください。



【詳細】西清掃事務所(発寒15-14)TEL664-0053

### ■西区民センター・各地区センター

年末年始は右表4の通り休館します。 ※休館期間中の貸室使用申し込みは12月28日(水)に繰り上げて受け付けします。

【詳細】右表4の通り。

表2【ごみ収集】

区 分	収集地区	12月最終日	1月初日
燃やせるごみ	月・木曜日の地区	29日(木)	5日(木)
	火・金曜日の地区	30日(金)	6日(金)
燃やせないごみ	水曜日の地区	28日(水)	4日(水)
	木曜日の地区	29日(木)	5日(木)
	金曜日の地区	30日(金)	6日(金)
資源の日 ●びん・缶・ペットボトル ●プラスチック	月曜日の地区	26日(月)	9日(祝)
	火曜日の地区	27日(火)	10日(火)
	水曜日の地区	28日(水)	4日(水)
	金曜日の地区	30日(金)	6日(金)

表3【大型ごみ収集】

電話申し込み制による戸別有料収集 ※収集日の2日前(土・日曜は除く)までに大型ごみ収集センター(TEL281-8153)へお申し込みください。なお、12月最後の収集日の申込期限は12月26日(月)です。 <西区全地区>	
12月最終日	1月初日
28日(水)	4日(水)

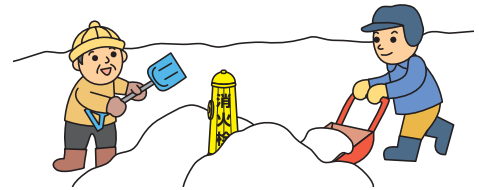
表4【西区民センター・各地区センター休館日】

西区民センター(琴似2-7)	641-4791	12月29日(木)～1月3日(火)
西野地区センター(西野4-2)	666-5550	
はっさむ地区センター(発寒10-4)	662-8411	

### 消火栓の除雪にご協力を

消火栓は、火災の被害を軽減する生命線です。消火栓の除雪については、万一に備え消防職員、消防団員が総動員で行っていますが、大雪の際は除雪が行き届かなくなることも考えられます。

地域の安全確保のため、ご自宅やお勤め先の周辺にある消火栓の除雪にご協力をお願いします。



【詳細】西消防署警防課TEL667-2100(代表)

### 平成17年度西区選挙啓発作品展作品集

未来を担う子どもたちに、政治や選挙への関心を高めてもらう絵手紙を募集します。  
**応募資格** 区内の学校に在籍する小学生(3年生以上)・中学生。  
**応募区分** ①小学校3・4年生の部 ②題材「私の街の良いところ・すてきなところ」 ③中学校の部 ④題材「選挙へ行こう・投票しよう」。

**募集要領** 区内の小中学校、児童会館、まちづくりセンターで配布中。

**応募方法** 募集要領を確認の上、題材に合った絵手紙を作成し、封書で1月25日(水)成し、当日消印有効。までに左記に送付。



申込先・詳細 西区選挙管理委員会

「選挙啓発作品展」係

〒063-8612 琴似2-7 西区役所内

TEL(64)2400内線217



### 地球に優しいまちづくり

12月は地球温暖化防止月間です

12月は「京都議定書」が採択された月にちなみ「地球温暖化防止月間」とされています。今月は、冬季の地球温暖化対策について紹介します。

#### 京都議定書について

1997年12月、国ごとに温室効果ガスの削減量を決める会議が京都で開催されました。この会議で取り交わされた約束が「京都議定書」と呼ばれており、この中で、日本は温室効果ガスを1990年を基準に6%削減することが義務付けられました。議定書の発効には一定数の国の参加が必要であったことから、「京都議定書」は今年2月に発効することとなりました。

#### マイナス6%への取り組み

この京都議定書の目標を達成するため、環境省が中心と

なり、国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」が全国で展開されています。「クールビズ」や暖房時のオフィスの室温を20℃に保ち、「ウォームビズ」などの提唱を推奨しています。

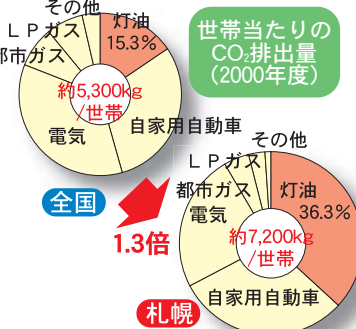
- 6つのアクション
- 温度調節で減らそう
  - 水道の使い方で減らそう
  - 自動車の使い方減らそう
  - 商品の選び方で減らそう
  - 買い物とごみで減らそう
  - 電気の使い方減らそう

札幌市もエコライフ10万人宣言を通じて参加しており、現在、西区では宣言者が6千人を超え、市内10区で1位となっています。これはチーム・マイナス6%の11月までの参加者数約15万人の4%を占めており、全国でも有数の環境推進地区といえます。

#### 冬季のエコライフ

積雪寒冷地である札幌市では、厳しい冬を乗り越えるため暖房器具の使用は欠かせません。市民生活、特に灯油の

使用によるCO<sub>2</sub>の排出量は全国のを大きく上回っており、さらなる取り組みが必要です。



灯油の使用を控えつつ、暖かく冬を過ごすため、左記を参考に実践してみてください。

#### 室温調整のポイント

- 服をもう1枚重ね着して部屋の温度を調整する。
- 暖房面積に合った機器を選択する。
- ファンヒーターのフィルターを小まめに掃除する。
- 窓からの冷気を遮断するのにカーテンを活用する。
- 部屋の温度調整に自然通気や太陽光をうまく利用する。
- 部屋の温度、湿度をチェックする。
- 窓のすき間に目張りをする。
- 窓用断熱シート・フィルムを張る。

#### 西区エコライフセミナー開催決定

地球温暖化防止月間に合わせて、西区では12月21日(水)ちえりあで「子ども環境活動発表会」と北野大さんによる「新エネルギー講演会」を開催します。詳細は区民のページ6ページをご覧ください。

【詳細】西区地域振興課環境活動担当TEL(64)2400内線256

※さっぽろエコライフ10万人宣言をすると、環境省が進めている「チーム・マイナス6%」の人数にカウントされます。